

6月の天候

2023年（令和5年）6月の特徴：

○気温は北・東日本でかなり高く、西日本で高かった

気温は、上旬は暖かい空気が流れ込みやすく、中旬後半からは暖かい空気に覆われやすかったため、北・東日本でかなり高く、西日本で高かった。北日本では、1946年の統計開始以降、6月として1位の高温となった。

○降水量は東日本日本海側と東日本太平洋側でかなり多く、北日本日本海側と北・西日本太平洋側で多かった

降水量は、前線に向かって台風第2号から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で2日から3日にかけて記録的な大雨となった所もあったため、東日本日本海側と東日本太平洋側でかなり多く、西日本太平洋側で多かった。また、上旬に低気圧の影響を受けやすかった北日本日本海側と北日本太平洋側で多かった。

○日照時間は北日本太平洋側で多かった

日照時間は、中旬後半から下旬にかけて高気圧に覆われやすく、この時期としては晴れた日が多かったため、北日本太平洋側で多かった。

1 概況

北日本では、上旬は数日の周期で天気に変化したが、中旬後半以降は高気圧に覆われやすく、この時期としては晴れた日が多かったため、月間日照時間は北日本太平洋側で多かった。上旬に低気圧の影響でまとまった雨の降った日があったため、月降水量は北日本日本海側と北日本太平洋側で多かった。東・西日本では、前線に向かって台風第2号から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響により、太平洋側で線状降水帯が発生して2日から3日にかけて記録的な大雨となった所もあったため、月降水量は東日本日本海側と東日本太平洋側でかなり多く、西日本太平洋側で多かった。沖縄・奄美では、梅雨前線や南からの湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かったが、下旬の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。気温は、上旬は暖かい空気が流れ込みやすく、中旬後半からは暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温は北・東日本でかなり高く、西日本で高かった。北日本では、月平均気温平年差が+2.2℃で、1946年の統計開始以降、6月として1位の高温となった。

2 気温、降水量、日照時間等の気候統計値

(1) 平均気温

北・東日本でかなり高く、西日本で高かった。根室（北海道）、むつ（青森県）等 23 地点では月平均気温の高い方からの 1 位を更新し、紋別（北海道）、巖原（長崎県）等 4 地点では月平均気温の高い方からの 1 位タイを記録した。沖縄・奄美では平年並だった。

(2) 降水量

東日本日本海側と東日本太平洋側でかなり多く、北日本日本海側と北・西日本太平洋側で多かった。伊良湖（愛知県）では月降水量の多い方からの 1 位を更新した。西日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

(3) 日照時間

北日本太平洋側で多かった。北・東・西日本日本海側、東・西日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並だった。

(4) 地域平均平年差（比）の 1 位の値の更新状況

- ・ 月平均気温の高い記録を更新した地方
北海道地方、東北地方

地域平均平年差（比）と階級（2023年6月）

	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)				
北日本	2.2 (+)*	131 (+)	111 (+)	北海道	2.5 (+)*	126 (+)	117 (+)				
		日 140 (+)	日 106 (○)			日 149 (+)	日 114 (+)				
		太 123 (+)	太 114 (+)			オ 126 (+)	オ 129 (+)				
東日本	1.0 (+)*	179 (+)*	101 (○)	東北	1.9 (+)*	137 (+)*	102 (○)				
		日 163 (+)*	日 107 (○)			日 130 (+)	日 93 (-)				
		太 183 (+)*	太 100 (○)			太 142 (+)*	太 108 (○)				
西日本	0.5 (+)	111 (○)	94 (○)	関東甲信	1.1 (+)*	181 (+)*	108 (+)				
		日 103 (○)	日 97 (○)			北陸	1.2 (+)*	163 (+)*	107 (○)		
		太 119 (+)	太 92 (○)					東海	0.8 (+)*	185 (+)*	88 (-)
中国	0.7 (+)	105 (+)	93 (○)	近畿	0.3 (+)			135 (+)	87 (-)		
						日 139 (+)	日 92 (○)	四国	0.1 (○)	129 (+)	89 (○)
						太 134 (+)	太 85 (-)			九州北部	0.7 (+)
九州南部	0.2 (○)	116 (+)	101 (○)	本	0.3 (○)	105 (○)	104 (○)				
						奄	-0.1 (○)	本	105 (○)	本	104 (○)
						奄	164 (+)*	奄	164 (+)*	奄	88 (-)
沖縄・奄美	-0.1 (○)	104 (○)	91 (○)	沖縄	-0.1 (○)	87 (○)	91 (○)				

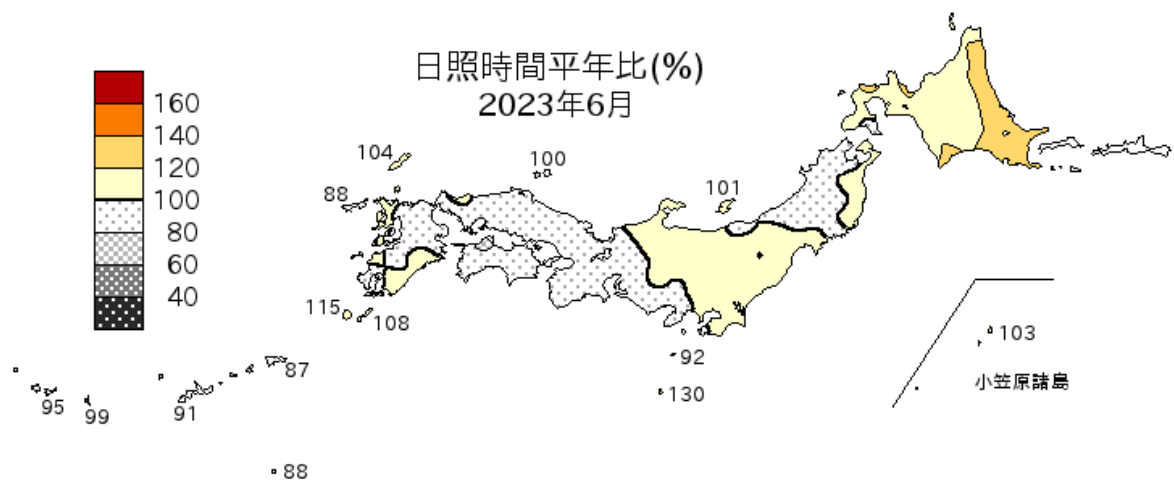
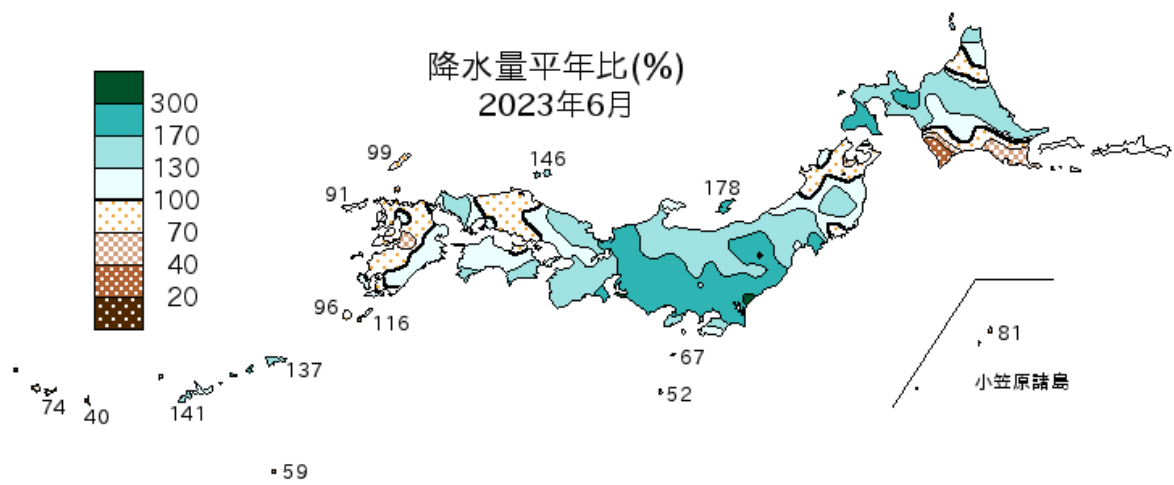
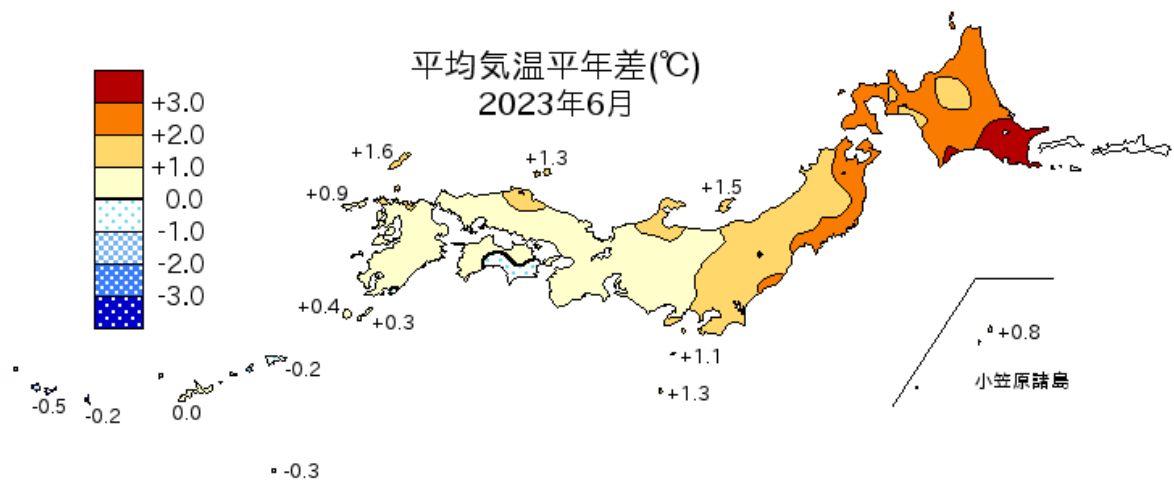
階級表示 ー:低い(少ない) ○:平年並 +:高い(多い)
*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は153地点である。

- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間・降雪量の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

平年差（比）図（2023年6月）



3 旬別の天候経過

上旬：北日本では、天気は数日の周期で変化したが、低気圧の影響でまとまった雨の降った日があったため、旬降水量は北日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、旬間日照時間は北日本日本海側で少なかった。東・西日本では、梅雨前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かったため、旬間日照時間は西日本日本海側と東・西日本太平洋側で少なかった。また、関東甲信地方では、8日ごろに梅雨入りしたとみられる。前線に向かって台風第2号から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、太平洋側では線状降水帯が発生して2日から3日にかけて記録的な大雨となった所もあったため、旬降水量は東・西日本日本海側と東・西日本太平洋側でかなり多かった。特に、東日本太平洋側では旬降水量平年比が600%となり、1946年の統計開始以降、6月上旬として1位の多雨となった。沖縄・奄美では、旬のはじめは台風第2号、旬の終わりは梅雨前線の影響で曇りや雨となったが、旬の中頃は高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、旬間日照時間は多かった。気温は、北・東日本では暖かい空気が流れ込みやすく、平年を上回る日が多かったため、旬平均気温は高かった。一方、西日本では旬の中頃以降に冷涼な空気の影響を受けて、平年を下回る日があった。

旬平均気温は、北・東日本で高かった。西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北・東・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側でかなり多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北・西日本日本海側と東・西日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美で多かった。北日本太平洋側と東日本日本海側では平年並だった。

中旬：北・東・西日本では、旬の前半は北日本は気圧の谷の影響を受けやすく、東・西日本は梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすかったため、曇りや雨の日が多かったが、旬の後半は高気圧に覆われやすく、この時期としては晴れた日が多かった。このため、旬間日照時間は北・西日本日本海側と北・東日本太平洋側で多く、旬降水量は北・西日本日本海側と東・西日本太平洋側で少なかった。なお、北陸地方、東北南部、東北北部では11日ごろに梅雨入りしたとみられる。旬平均気温は、北日本を中心に暖かい空気に覆われ平年を上回る日が多かったため、北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。特に、北日本の旬平均気温平年差は+2.2℃となり、1946年の統計開始以降、6月中旬として1位タイの高温となった。一方、沖縄・奄美では、梅雨前線や南からの湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。旬の終わりは奄美地方で線状降水帯が発生し、大雨となった所もあった。このため、旬平均気温は低く、旬間日照時間はかなり少なく、旬降水量は多かった。

旬平均気温は、北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。一方、沖縄・奄美で低かった。

旬降水量は、北・西日本日本海側と東・西日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美で多かった。北日本太平洋側と東日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美でかなり少なかった。一方、北・西日本日本海側と北・東日本太平洋側で多かった。東日本日本海側と西日本太平洋側では平年並だった。

下旬：北・東・西日本では、旬の前半は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、旬の後半は北日本は気圧の谷の影響を受けやすく、東・西日本は梅雨前線や湿った空気の影響を受けやすかったため日本海側を中心に曇りや雨の日が多く、30日は西日本で大雨となった所もあった。そのため、旬降水量は北・東・西日本日本海側で多く、旬間日照時間は西日本日本海側で少なかった。一方、東・西日本太平洋側ではまとまった降水とならなかった所が多く、旬降水量は少なかった。沖縄・奄美では、旬の前半は梅雨前線や南からの湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かったが、旬の後半は梅雨前線が本州付近に北上し、高気圧に覆われて晴れた日が多かつ

た。沖縄地方では25日ごろに、奄美地方では26日ごろに梅雨明けしたと見られる。気温は、北日本を中心に暖かい空気に覆われやすかったため、旬平均気温は北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。一方、旬の前半に奄美地方を中心に曇りや雨の日が多かった沖縄・奄美では低かった。

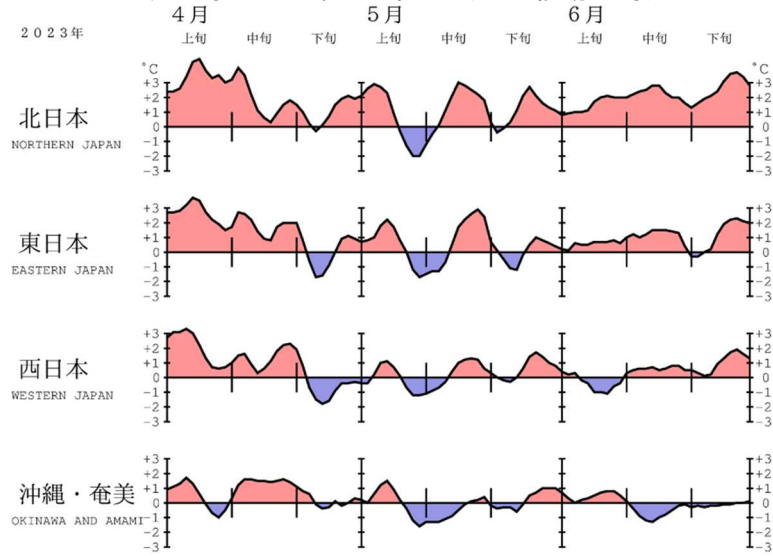
旬平均気温は、北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。一方、沖縄・奄美では低かった。

旬降水量は、北・東・西日本日本海側が多かった。一方、東・西日本太平洋側で少なかった。

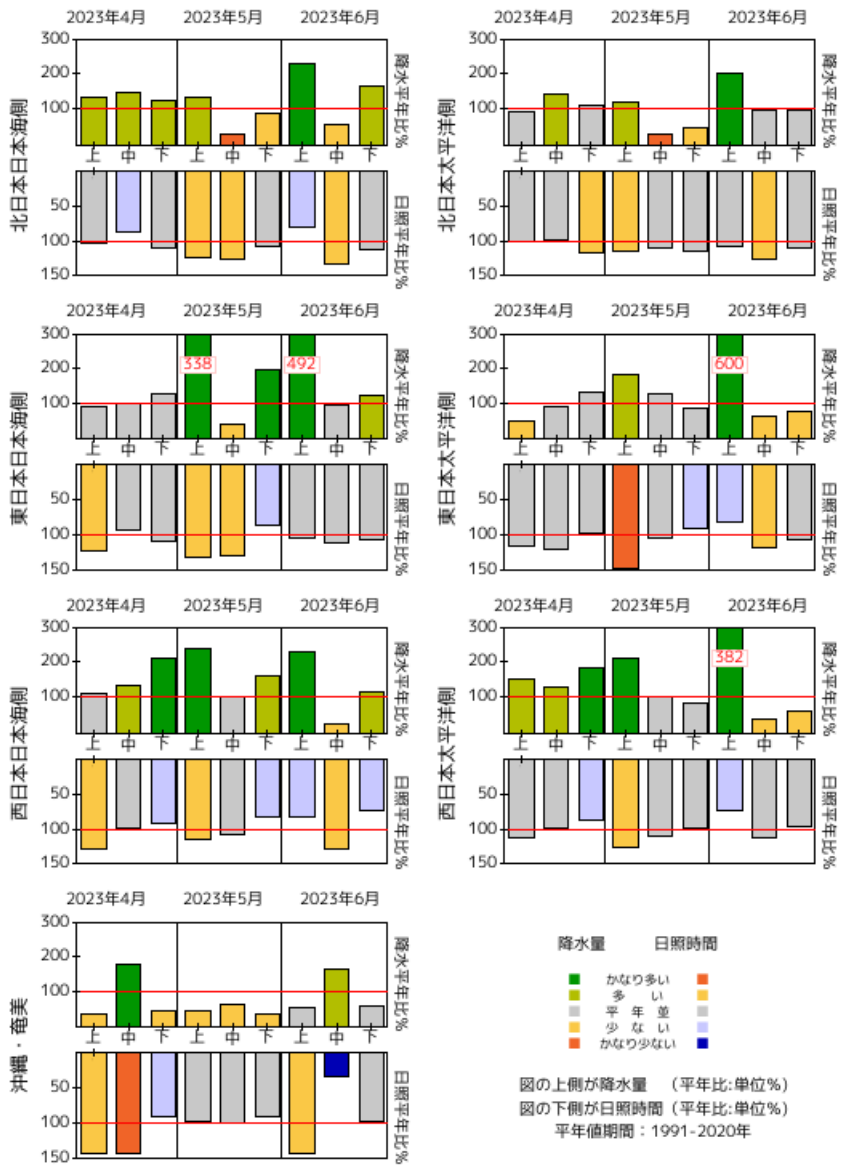
北日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、西日本日本海側で少なかった。北・東日本日本海側、北・東・西日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並だった。

地域平均気温平年差の経過（5日移動平均）

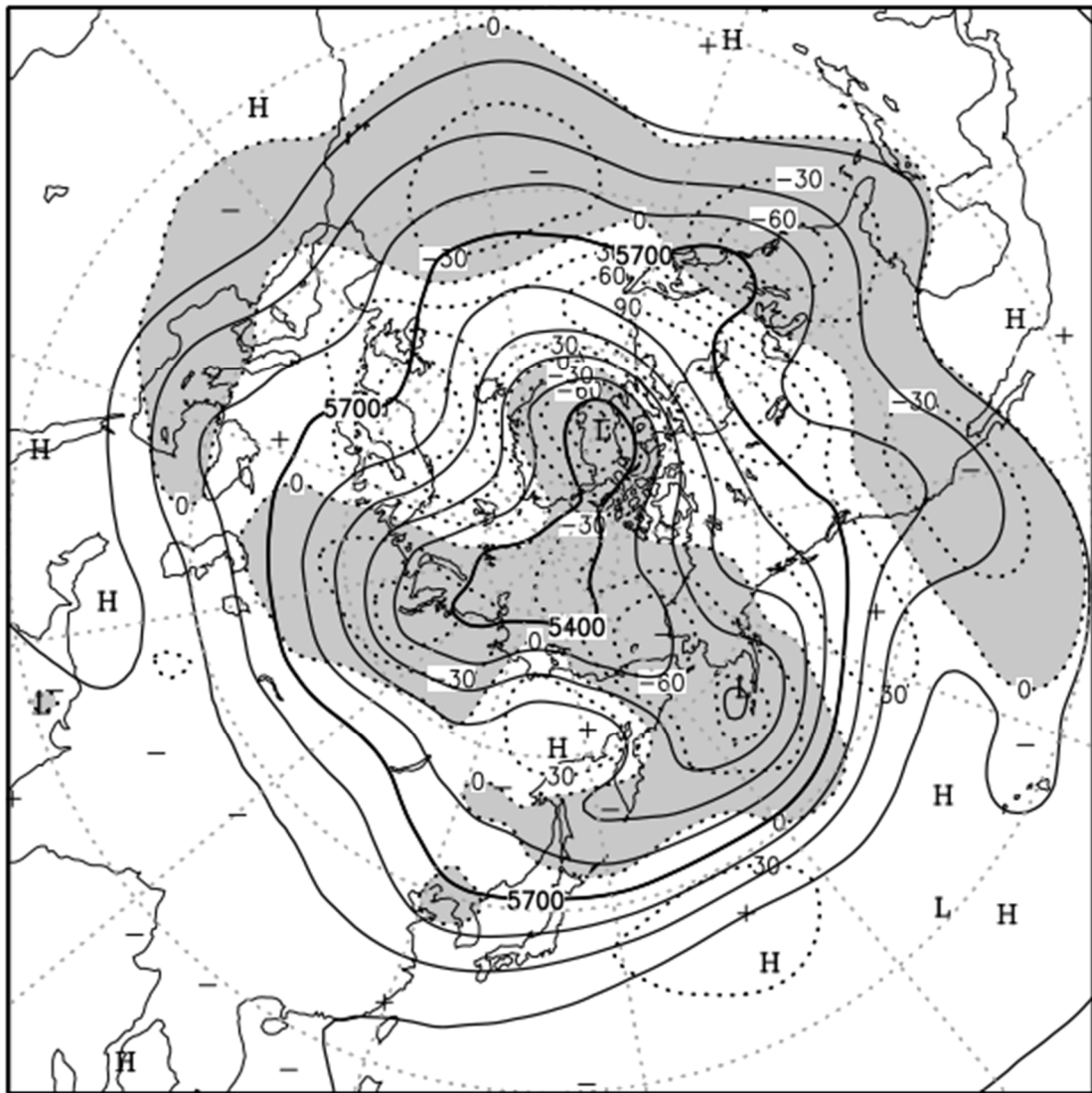


旬降水量および旬間日照時間の地域平均平年比の時系列



4 大気の流れの特徴

500hPa 天気図：朝鮮半島付近が気圧の谷となり、東・西日本を中心に前線の影響を受けやすい時期があったことに対応している。また、オホーツク海付近で高度が低く、北日本ではオホーツク海高気圧の影響を受けにくかった。日本付近の高度は平年より高く、また地表付近では南から暖かい空気が流れ込みやすい時期もあった。



2023年6月の500hPa高度・偏差（等値線間隔 実況（実線）60m、偏差（破線）30m）
陰影域は負偏差
（この図は6月1日～30日までのデータで作成しています。）

5 全国気候表 2023年6月

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
札幌	19.3	(+2.3)	++	133.5	(221)	++	11	215.3	(120)	+
稚内	15.7	(+2.7)	++	90.5	(138)	+	11	183.4	(119)	+
北見枝幸	14.9	(+2.5)	++	91.5	(111)	○	9	173.5	(124)	+
旭川	18.9	(+1.9)	++	104.5	(146)	++	9	181.5	(103)	○
留萌	17.4	(+2.0)	++	89.0	(158)	+	9	198.9	(114)	+
羽幌	17.6	(+2.1)	++	50.0	(74)	-	10	194.0	(109)	○
岩見沢	18.3	(+2.0)	++	83.0	(119)	+	10	191.1	(110)	○
倶知安	17.5	(+1.9)	++	102.5	(171)	++	9	178.9	(105)	○
小樽	18.3	(+2.3)	++	89.0	(160)	++	9	213.4	(125)	+
寿都	17.8	(+2.4)	++	79.5	(131)	+	9	205.4	(121)	+
網走	16.5	(+3.0)	++	96.5	(142)	+	11	217.7	(126)	+
紋別	16.0	(+3.0)	++	120.0	(172)	+	11	202.9	(131)	+
雄武	15.0	(+2.7)	++	60.0	(80)	○	10	194.9	(134)	++
釧路	15.5	(+3.3)	++	77.0	(67)	○	7	157.3	(124)	++
根室	14.3	(+3.4)	++	64.0	(62)	-	5	173.7	(128)	++
帯広	18.0	(+2.8)	++	82.5	(102)	○	7	173.8	(117)	+
広尾	15.8	(+3.1)	++	55.0	(37)	-	8	156.0	(123)	+
室蘭	16.5	(+2.1)	++	158.5	(145)	+	11	170.3	(109)	+
苫小牧	15.9	(+1.9)	++	152.0	(136)	+	14	137.3	(115)	+
浦河	16.2	(+2.7)	++	29.0	(30)	-*	7	171.3	(118)	+
函館	18.7	(+2.5)	++	154.5	(194)	++	10	165.8	(96)	○
江差	18.6	(+2.2)	++	137.0	(174)	+	11	180.3	(110)	+
青森	19.9	(+2.3)	++	51.0	(68)	-	9	171.3	(95)	○
深浦	19.3	(+1.8)	++	102.5	(104)	○	10	155.0	(86)	-
むつ	18.6	(+2.5)	++	88.0	(93)	○	9	179.4	(110)	+
八戸	19.4	(+2.7)	++	105.5	(102)	○	12	189.2	(112)	+
秋田	21.2	(+1.6)	++	114.5	(93)	○	11	158.4	(88)	-
盛岡	20.5	(+1.7)	++	153.0	(140)	+	15	158.5	(98)	○
大船渡	20.1	(+2.2)	++	168.0	(96)	○	12	146.7	(97)	○
宮古	19.0	(+2.5)	++	158.5	(128)	+	13	168.1	(110)	+
仙台	21.6	(+2.4)	++	173.0	(120)	+	12	162.2	(113)	+
石巻	20.5	(+2.2)	++	221.0	(200)	++	14	164.9	(105)	○
山形	21.6	(+1.3)	++	169.0	(161)	+	14	169.4	(103)	○
新庄	20.6	(+1.3)	+	174.0	(138)	+	14	140.0	(89)	-
酒田	21.5	(+1.5)	+	150.0	(120)	+	14	160.8	(88)	-
福島	22.3	(+1.6)	++	203.5	(168)	+	12	160.4	(113)	+
若松	21.5	(+1.0)	+	247.0	(227)	++	11	172.6	(104)	○
白河	20.3	(+1.2)	+	237.5	(159)	++	14	147.1	(113)	+
小名浜	21.5	(+2.4)	++	320.5	(214)	++	12	163.3	(109)	+
水戸	22.2	(+1.9)	++	423.0	(312)	++	14	159.3	(116)	+
館野(つくば)	22.2	(+1.4)	++	364.5	(277)	++	11	138.4	(107)	○
宇都宮	22.4	(+1.2)	++	340.0	(194)	++	14	129.3	(109)	○
日光	15.2	(+1.2)	++	333.0	(146)	+	18	128.9	(120)	+
前橋	23.3	(+1.2)	++	272.0	(184)	++	16	153.7	(111)	+

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
熊谷	23.5	(+1.2) +*	277.0	(185) +*	14	159.5	(119) +
秩父	21.9	(+1.1) +	242.0	(166) +*	15	137.9	(112) +
東京	23.2	(+1.3) +*	347.0	(207) +*	15	137.5	(111) +
大島	22.4	(+1.4) +*	251.0	(76) ○	11	114.2	(91) -
三宅島	22.9	(+1.1) +*	234.5	(67) -	13	116.9	(92) ○
八丈島	22.6	(+1.3) +*	203.5	(52) -	15	113.6	(130) +
父島	27.0	(+0.8) +	90.0	(81) ○	9	212.7	(103) ○
千葉	23.5	(+1.6) +*	253.5	(168) +*	11	145.6	(115) +
銚子	21.9	(+1.7) +*	300.0	(181) +*	13	161.5	(113) +
館山	22.7	(+1.2) +*	220.0	(104) ○	11	129.1	(95) ○
勝浦	21.8	(+1.0) +*	240.0	(108) ○	13	137.4	(104) ○
横浜	23.2	(+1.4) +*	333.0	(176) +*	12	149.0	(110) +
長野	21.0	(+0.6) +	141.5	(133) +	11	172.6	(103) ○
本松	20.9	(+0.7) +	193.0	(168) +*	15	180.6	(109) +
諏訪	19.8	(+0.5) +	316.0	(204) +*	16	165.2	(102) +
軽井沢	16.9	(+0.9) +	226.0	(146) +	15	158.6	(110) +
飯田	20.9	(+0.3) ○	424.0	(221) +*	15	158.4	(102) ○
甲府	22.8	(+0.5) +	256.0	(226) +*	12	148.5	(99) ○
河口湖	18.7	(+0.9) +	351.5	(224) +*	12	122.8	(100) ○
静岡	23.3	(+0.9) +	569.0	(212) +*	13	117.3	(86) -
浜松	23.2	(+0.6) +	514.0	(229) +*	15	133.7	(90) -
御前崎	22.4	(+0.9) +*	486.0	(189) +*	11	129.9	(88) -
三島	23.2	(+0.9) +*	474.5	(223) +*	11	110.9	(86) -
石廊崎	22.1	(+1.0) +*	310.0	(131) +	10	117.4	(83) -
網代	22.4	(+1.0) +	324.5	(129) +	10	115.8	(91) ○
名古屋	23.8	(+0.8) +	377.5	(202) +*	15	128.8	(85) -
伊良湖	22.9	(+0.7) +	585.0	(326) +*	14	134.4	(86) -
岐阜	23.8	(+0.6) +	425.0	(190) +*	13	135.7	(85) -
高山	20.2	(+0.5) +	272.5	(160) +	15	146.4	(102) ○
津	23.4	(+0.7) +	330.5	(164) +*	13	127.1	(87) -
上野	22.2	(+0.4) +	260.5	(134) +*	15	113.9	(86) -
尾鷲	22.7	(+0.8) +	707.0	(162) +*	16	118.6	(95) ○
四日市	22.4	(+0.7) +	330.5	(133) +	15	117.9	(80) -
新潟	22.1	(+1.2) +	182.5	(151) +	10	178.1	(99) ○
相川	21.3	(+1.5) +*	217.5	(178) +*	11	179.5	(101) ○
高田	21.8	(+0.9) +	225.5	(165) +	14	167.7	(109) ○
富山	22.7	(+1.3) +*	213.0	(123) +	13	169.8	(110) +
伏木	22.2	(+1.4) +*	246.0	(154) +	13	182.8	(115) +
金沢	22.9	(+1.3) +*	255.5	(150) +	12	186.4	(115) +
輪島	21.9	(+1.9) +*	196.5	(126) +	12	194.4	(120) +

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
福井	22.7	(+0.7) +	285.0	(187) +*	14	146.3	(100) ○
	敦賀	22.7	(+0.6) +	342.0	(237) +*	14	128.1
彦根	22.3	(+0.5) +	249.0	(142) +	15	135.7	(88) -
京都	23.6	(+0.3) +	228.0	(114) +	14	107.9	(81) -
	舞鶴	22.1	(+0.5) +	238.0	(154) +	15	123.9
大阪	23.8	(+0.2) ○	262.0	(142) +	14	130.9	(85) -
神戸	23.4	(0.0) ○	223.5	(126) +	10	131.3	(80) -
	豊岡	22.5	(+0.7) +	194.5	(130) +	14	135.1
姫路	22.5	(+0.1) ○	207.5	(129) +	13	128.4	(82) -
洲本	22.5	(+0.1) ○	239.0	(121) ○	14	141.4	(93) ○
奈良	22.9	(0.0) ○	235.0	(128) +	15	118.3	(85) -
和歌山	23.3	(+0.1) ○	305.5	(166) +	11	132.6	(84) -
	潮岬	22.6	(+0.5) +	521.5	(143) +*	14	114.3
岡山	23.0	(+0.3) ○	143.5	(85) ○	12	135.9	(89) -
	津山	21.5	(0.0) ○	236.5	(128) +	14	134.0
広島	23.3	(+0.1) ○	219.0	(97) ○	13	131.0	(85) -
	呉	22.6	(+0.2) ○	250.0	(115) +	12	139.0
福山	22.6	(+0.1) ○	130.0	(74) ○	15	139.6	(86) -
松江	22.7	(+1.0) +	175.5	(101) ○	11	153.3	(98) ○
	西郷	21.7	(+1.3) +*	242.0	(146) +	11	164.3
浜田	22.4	(+1.0) +*	155.0	(84) ○	12	151.9	(96) ○
鳥取	22.9	(+0.9) +	206.0	(141) +	13	149.7	(97) ○
	米子	23.2	(+1.4) +*	160.5	(95) ○	10	155.3
境	23.0	(+1.2) +*	153.5	(90) ○	10	157.4	(97) ○
徳島	22.9	(-0.1) -	293.5	(152) +	13	136.7	(90) -
高松	23.5	(+0.2) ○	153.0	(100) ○	12	135.5	(86) -
	多度津	22.9	(+0.3) ○	154.0	(96) ○	10	143.9
松山	23.1	(+0.2) ○	274.5	(120) ○	14	117.9	(78) -
	宇和島	22.9	(+0.1) ○	341.0	(119) +	14	124.6
高知	23.0	(-0.1) ○	419.0	(117) +	13	124.7	(93) ○
	宿毛	22.8	(+0.2) ○	433.0	(132) +	13	130.2
清水	23.0	(0.0) ○	619.0	(155) +*	15	122.1	(93) ○
室戸岬	21.4	(-0.1) -	574.0	(174) +*	12	114.6	(87) ○
山口	22.7	(+0.1) ○	456.5	(161) +	13	121.6	(85) ○
	下関	23.1	(+0.6) +	264.5	(104) ○	12	132.8
萩	22.7	(+0.8) +	285.0	(138) +	13	150.1	(108) ○
福岡	24.4	(+1.1) +*	169.0	(68) -	10	144.6	(100) ○
	飯塚	23.4	(+0.8) +*	280.0	(99) ○	11	132.4

地名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級	
	(℃)	(℃)	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	23.0	(+0.4) +	376.5	(120) +	15	124.1	(91) ○
日田	23.6	(+0.6) +	313.0	(89) ○	12	116.6	(92) ○
長崎	23.7	(+0.7) +	332.0	(99) ○	11	129.1	(103) ○
厳原	22.9	(+1.6) +*	290.0	(99) ○	12	142.2	(104) ○
平戸	22.3	(+1.2) +*	241.0	(76) -	12	133.5	(107) ○
佐世保	23.8	(+0.8) +	226.0	(69) -	12	133.1	(104) ○
雲仙	19.6	(+0.4) +	336.0	(58) -	14	87.8	(93) ○
福江	23.0	(+0.9) +*	294.5	(91) ○	16	107.2	(88) ○
佐賀	24.3	(+0.8) +	378.5	(116) +	11	125.4	(95) ○
熊本	24.2	(+0.5) +	262.5	(59) ○	13	122.5	(94) ○
人吉	22.7	(+0.3) ○	479.5	(85) ○	14	113.5	(97) ○
牛深	23.6	(+0.5) +	281.0	(69) -	14	122.9	(99) ○
宮崎	23.5	(+0.3) ○	582.5	(113) +	14	119.6	(100) ○
延岡	22.8	(+0.3) ○	534.0	(126) +	14	136.4	(109) ○
都城	23.0	(+0.3) ○	575.0	(103) ○	15	107.6	(104) ○
油津	23.3	(-0.1) ○	545.0	(97) ○	13	112.4	(103) ○
鹿児島	24.3	(+0.3) ○	534.0	(94) ○	15	99.8	(91) ○
阿久根	23.1	(+0.4) ○	428.0	(94) ○	15	131.9	(106) ○
枕崎	23.8	(+0.6) +	534.5	(104) ○	16	109.8	(100) ○
屋久島	24.1	(+0.4) +	825.5	(96) ○	17	114.9	(115) ○
種子島	24.3	(+0.3) +	644.0	(116) +	16	124.1	(108) ○
名瀬	26.0	(-0.2) ○	586.0	(137) +	18	101.3	(87) ○
沖永良部	25.8	(-0.1) ○	608.0	(191) +*	13	146.2	(89) -
那覇	27.2	(0.0) ○	400.5	(141) +	10	145.0	(91) ○
名護	27.0	(+0.1) ○	345.0	(118) +	11	138.0	(91) ○
久米島	27.2	(0.0) ○	233.0	(76) ○	9	139.3	(88) ○
宮古島	27.5	(-0.2) ○	78.0	(40) -	6	190.9	(99) ○
石垣島	27.9	(-0.5) -	155.0	(74) ○	8	202.6	(95) ○
西表島	27.7	(-0.1) ○	120.0	(64) ○	9	180.0	(88) ○
与那国島	27.6	(-0.3) -	158.0	(97) ○	13	161.0	(88) ○
南大東島	26.6	(-0.3) ○	117.5	(59) -	5	192.4	(88) -

(注) 1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に「) や]」がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができる。]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

6 順位更新表 2023年6月

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温の高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	稚内	15.7	+2.7	15.5 (1984)	1938	13.0
	羽幌	17.6 =	+2.1	17.6 (2014)	1921	15.5
	留萌	17.4	+2.0	17.3 (2014)	1943	15.4
	小樽	18.3	+2.3	17.7 (2021)	1943	16.0
	札幌	19.3	+2.3	19.2 (2010)	1877	17.0
	岩見沢	18.3 =	+2.0	18.3 (1991)	1947	16.3
	帯広	18.0	+2.8	17.5 (2021)	1892	15.2
	釧路	15.5	+3.3	14.1 (2020)	1910	12.2
	根室	14.3	+3.4	13.1 (1904)	1880	10.9
	寿都	17.8	+2.4	17.2 (2010)	1884	15.4
	室蘭	16.5	+2.1	16.4 (1946)	1923	14.4
	苫小牧	15.9	+1.9	15.8 (2020)	1942	14.0
	浦河	16.2	+2.7	15.6 (2007)	1927	13.5
	江差	18.6	+2.2	17.9 (2014)	1941	16.4
	函館	18.7	+2.5	18.2 (2007)	1873	16.2
	紋別	16.0 =	+3.0	16.0 (2004)	1956	13.0
	広尾	15.8	+3.1	14.9 (2021)	1958	12.7
	大船渡	20.1	+2.2	19.8 (1991)	1964	17.9
	深浦	19.3	+1.8	18.9 (2020)	1940	17.5
	青森	19.9	+2.3	19.8 (1991)	1882	17.6
むつ	18.6	+2.5	18.2 (1991)	1935	16.1	
八戸	19.4	+2.7	19.3 (1991)	1937	16.7	
仙台	21.6	+2.4	21.4 (1979)	1927	19.2	
小名浜	21.5	+2.4	21.0 (1991)	1910	19.1	
輪島	21.9	+1.9	21.7 (1979)	1929	20.0	
千葉	23.5	+1.6	23.4 (2020)	1966	21.9	
厳原	22.9 =	+1.6	22.9 (2022)	1887	21.3	
2	雄武	15.0 =	+2.7	15.4 (2004)	1942	12.3
	網走	16.5 =	+3.0	17.3 (1894)	1890	13.5
	倶知安	17.5 =	+1.9	17.9 (2010)	1944	15.6
	石巻	20.5	+2.2	21.3 (1894)	1888	18.3
	相川	21.3 =	+1.5	21.9 (1916)	1911	19.8
	水戸	22.2	+1.9	22.4 (1979)	1897	20.3
	銚子	21.9	+1.7	22.0 (1894)	1887	20.2
	館山	22.7	+1.2	23.2 (2020)	1968	21.5
	大島	22.4 =	+1.4	22.7 (2020)	1939	21.0
	福江	23.0 =	+0.9	23.4 (2020)	1962	22.1
3	旭川	18.9 =	+1.9	19.5 (2010)	1889	17.0
	秋田	21.2 =	+1.6	21.5 (2014)	1883	19.6
	宮古	19.0	+2.5	19.7 (1894)	1883	16.5
	宇都宮	22.4 =	+1.2	22.9 (1979)	1891	21.2
	館野	22.2	+1.4	22.7 (1979)	1921	20.8
	浜松	23.2 =	+0.6	23.8 (2020)	1883	22.6
	石廊崎	22.1 =	+1.0	22.5 (2020)	1939	21.1
	横浜	23.2	+1.4	23.4 (2020)	1897	21.8
	勝浦	21.8	+1.0	22.9 (1916)	1906	20.8
	西郷	21.7 =	+1.3	21.8 (2020)	1939	20.4

	平戸	22.3	+1.2	22.4 (2022)	1940	21.1
--	----	------	------	-------------	------	------

月平均気温の低い方からの順位更新
3位以内はなし

月降水量の多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	伊良湖	585.0	326	489.7 (1954)	1947	179.6
2	若松	247.0	227	288.0 (1978)	1954	108.6
	館野	364.5	277	611.1 (1938)	1921	131.8
3	水戸	423.0	312	635.5 (1938)	1897	135.7
	沖永良部	608.0	191	723.5 (2005)	1969	317.7

月降水量の少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
3	浦河	29.0	30	24.5 (1985)	1927	95.9

月間日照時間の多い方からの順位更新
3位以内はなし

月間日照時間の少ない方からの順位更新
3位以内はなし

(注) 値の横に] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている（資料不足値）。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計日数を参照されたい。
平年値とは1991～2020年の30年間の値を平均したものである。

○本資料に関連した各地点の所在地等の情報は、気象庁ホームページに掲載しています。

ホーム > 知識・解説 > 気象の観測 > 地上気象観測 > 地上気象観測地点一覧

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>



(注意)

当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

また、最新のデータを追加した上で、毎月15日頃に気象庁ホームページの「日本の天候の特徴と見通し」で詳しく解説しています。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfest/>

